

豊中の政治を変えよう！

発行 2008 年 1 月

VOL. 15
2 万部発行

新年あけまして
おめでとう
ございます

豊中市議会議員
無所属・市民派

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



若い力で新しい政治を実現します！

◆大トリを務めた 12 月議会の個人質問報告

2回目となる個人質問も多くの市民の方々に傍聴して頂きました。「前回傍聴に来て頂いた方も、今回初めて傍聴に来て頂いた方にも満足して頂く」、何より「豊中市、豊中市民にとって有益な議論をする」ことを念頭において質問しました。私の提案が一つでも活かされ、豊中市にとってプラスになればと思います！！

以下に私が行った質問、要望、意見の内容と理事者からの答弁内容をまとめています。

ぜひ、個人質問・答えに関するご意見、ご感想をお寄せください！！



二〇〇七年十二月二十一日（金）



当番 神原 宏一郎

一、職員研修・職員教育にeラーニングを導入することについて

神原…時間やコストの無駄を省き、受講者の受講履歴の確認・管理が効率的に行えるeラーニングの導入を検討し、活用して欲しい。

答え…現在利用しているマッセOSAKAのeラーニング講座は無料のため、こうした無料の講座を利用することも「マッセOSAKAに講座の充実を求めている」。市としてもeラーニングの特徴や強みに応じた活用方法を検討する。

二、「新しい公共」とは？

神原…豊中市は「新しい公共」創りのためにどんな取り組みをしてきたのか？今後、どんな取り組みをするつもりなのか？民間に任せただ方が良い事業、どうしても市がやらなければならない事業、民と官の役割分担を根本から考え直すべき。

答え…協働事業提案制度や提案公募型委託事業などを実施してきた。今後、これまでの取り組みを推進し、「市民と行政の関係づくり」「公共サービス提供主体の多様化と行政の役割の遂行」「市民自治の促進」を着実に実施し、みんなで支え合う豊かな公共の実現を目指す。

三、職員の優遇された（！？）有給休暇について

神原…職員の有給休暇は民化事業の従業者に比べて優遇されているのではないかと、他方、一人の事業主として市長は社会全体の労働環境の悪化を深刻に受け止め、対策を講じる必要があるのではないかと、民間事業の従業者や豊中市の臨時職員、パート労働者の労働条件の改善を検討すべき。

答え…従業者1000人以上の企業における平均取得日数は約100日、本市職員の取得日数は約13日となっている。労働時間の短縮は、官民ともに事業主に課せられた責務であり、有給休暇の日数の引き下げは困難。

四、ベルマーク収集で、子ども達の自主性の向上を図っては？

神原…ベルマークをこども達が集め、自分たちの学校教材、備品を入手することは、こども達にとって大変良い教育形態ではないか？

答え…ベルマークについてはPTAが主体になって取り組まれており、各学校の自主的な取り組みであると考えている。各学校において、ボランティア精神や自主的・自発的な意識を育むような様々な取り組みを進めている。

※詳細は、ホームページ・議会報告をご覧ください。

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/positive-square/>

※ご意見・ご感想をお寄せください。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

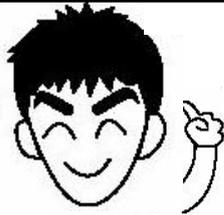
個人質問を振り返って… これが言いたかった！！



<官民格差を見直そう！>

労働基準法と地方公務員法における労働条件の規定の差を埋めるよう国に意見したり、市で働く臨時職員やパート労働者の労働条件を正職員の労働条件に少しでも近づける施策を積極的に行うべきではないでしょうか。

職員は様々な面で優遇されているという、市民感情が根強くあるという事を常に認識しておいて欲しい！！



<職員研修をもっと効率的に！！>

研修を指導者と受講者が、同じ場所に長時間いなければならない形式は時間やコストの面で相当な無駄があったはずで

です。e-ラーニングは簡単に言えば「インターネットを使った教育形態のこと」で職員研修や職員教育の場でうまく活用すれば、より効率化が図れるのではないかと思います。

e-ラーニングの導入は、内定者向け研修の活用、育児休暇中の職員向けの研修の活用、団塊の世代の大量退職への対応、住民向け講座への活用など可能性がいっぱいあります！！



<子ども達にとって…>

子ども達がベルマーク収集から社会的役割を理解し、働く事の楽しさ・厳しさを学び、自立性・社会性・金銭感覚を養うのではないのでしょうか？子ども達の学力ばかりに目を向けるのではなく、生きる力・社会順応力を高める取り組みをより一層行って欲しいと思います！



<『新しい公共』ってな～に！？>

最近「新しい公共」という言葉がよく使われるようになりました。「新しい公共」創りは、公共の分野を行政が独占的に行うのではなく、民間の主体と行政が対等な立場で連携して担うという、新しいというより、本来の公共のあり方を形成するということだと思います。スリムで効率的な市役所と充実した質の高いサービスの提供を求めて、**補助金公募制度**や**提案型公共サービス民営化制度**を例に挙げ、市が目指す「新しい公共」とは何なのかについて質疑しました。今後は個々の取り組みについて質問していきます！！

(補助金公募制度)

補助金の対象団体の活動状況、効果が納税者に分かりにくいいため、分け隔てなく一度、全ての補助金を廃止し、改めて補助金が欲しいという団体を公募し、応募のあった事業を市民・学識者による補助金検討委員会で審査し、その結果に基づき、新たに補助金をつける制度。

(提案型公共サービス民営化制度)

行政が行政の都合で民間に回したい事業を委託・民営化するといった感じが強いので、市が実施している全事業を対象に、委託・民営化の提案を企業、NPO 団体などから募集する制度。

たった10分という短い時間の中で、日頃から調査してきたことを中心に個人質問を行いました。私が行った質問内容を市民の方々にも少し考えてほしいと思い記載させて頂きました。

神原 宏一郎の活動報告 2007年10月1日～12月31日(抜粋) ※印は公務

日々の活動についての詳細は神原 宏一郎ホームページの日記をご覧ください！

<http://www.fcct.zaq.ne.jp/positive-square/diary.html>

2007年10月

- 1日 大阪大学・大阪外国語大学統合記念式典 ※
- 3日 豊中市立第11中学校体育大会 ※
- 4日 第1回「地域コミュニティと自治会・町内会の現状と課題について」
- 5日 街かどテイハウス事業者の方々と意見交換会
- 6日 北摂アクションネット
全国校区地域福祉活動サミット in 豊中 ※
森田洋司先生講演会
- 7日 市民体育祭 ※
- 8日 決算勉強会
- 11日 関西若手議員の会
- 12日 岡町の道路を考えるワークショップ
- 13日 クリーンランドフェスティバル ※
- 14日 介護フェア
「大きな公共と小さな政府」(福島浩彦前我孫子市長の講演会)
- 16日 豊中老人文化祭
- 17日 建設水道常任委員会決算審議(神原宏一郎所属) ※
- 18日 文教常任委員会決算審議 傍聴 ※
- 20日 上野歩こう会
- 21日 市民体育祭
豊中みどりのフォーラム
- 22日 環境福祉常任委員会決算審議 傍聴 ※
- 23日 総務常任委員会決算審議 傍聴 ※
- 24日 豊中市基本自治条例の活用を進める研究会
- 27日 2007生活展・第2回市政報告会 ※
「オレの心は負けてない」ドキュメンタリー映画鑑賞
- 28日 上野文化祭・大阪駅周辺バリアフリー調査
- 30日 再生資源ごみ勉強会
- 31日 豊中市立小学校連合音楽会 ※
「沖縄戦強制集団死と教科書検定」講演会



2007年11月

- 3日 教育表彰式・青少年指導者表彰式 ※
ヒューマンバザー
「おかまち・まちの文化祭」・豊中美術展 ※
「あったか演劇フェスティバル」・「ぞね坂まつり」
- 4日 前向きひろばイベント企画「有馬富士公園」
- 5日 特別委員会視察(茨木市・東大阪市) ※
- 6日 北摂アクションネット
「確かな学力」向上推進事業研究発表会(第16中学校) ※
- 9日 豊中市高齢者レクリエーション大会 ※
人権教育をすすめる市民の集い ※
- 10日 文化芸術祭 ※
ネットワークイレスンフェスタ
- 12日 関西若手議員の会
- 13日 特別委員会視察(高槻市) ※
- 15日 近畿市民派会議
- 16日 大阪府市議会議員研修会 ※
- 17日 農業祭・ESDワークショップ
豊中学童保育連絡協議会の懇談会
- 18日 地域文化祭



- 21日 街かどテイハウス「あさひ」見学
- 22日 再生資源ごみ勉強会
管理職職員研修 傍聴
(「提案型公共サービス民営化制度」について)
梅花学園中学校・高校合唱会
- 23日 上野歩こう会
- 25日 野畑フェスタ2007
東豊中フェスティバル
千里ニュータウン再生シンポジウム
- 26日 議会運営委員会傍聴 ※
- 27日 あけほの幼稚園・保育園視察 ※
熊野田幼稚園・保育園視察 ※
シングル作品展
- 28日 豊中市伊丹市クリーンランド議会傍聴 ※
- 29日 南桜塚小学校公開授業・研究発表・講演会 ※
生活扶助の切り下げに反対する緊急集会
- 30日 再チャレンジ合同就職面接会
2008年度の施策及び予算編成に関する要望書提出 ※



2007年12月

- 1日 池田市立細川小学校公開授業見学 ※
六稜トークリレーDX 参加 →
(北野の先輩：山田伍郎さんの講演会)
- 2日 「市民を議会へバックアップセミナー」パネラー参加
- 3日 12月定例会 本会議 ※
- 4日 「豊中市障害者週間啓発キャンペーン」参加
- 5日 建設水道常任委員会(神原宏一郎所属) ※
- 6日 文教常任委員会 傍聴 ※
自治基本条例の活用を進める研究会参加
- 7日 環境福祉常任委員会 傍聴 ※
とよなか市民環境展2007 見学
まちづくりフォーラム(北川潤一郎さん基調講演)
- 8日 とよなか市民環境展2007 上映会
(「不都合な真実」鑑賞)
宅地開発に関する説明会参加
- 9日 北摂アクションネット
学生インターン座談会 →
- 11日 総務常任委員会 傍聴 ※
- 13日 阪大×二中共同企画
(実践型まちづくりプロジェクト)
のぼたけ保育園三者懇談傍聴
- 15日 上野歩こう会
ふれあいサロン
- 18日 豊中えびす祭「ニコニコ懇親会」
- 19日 本会議・個人質問 ※
- 20日 本会議・個人質問 ※
とよなか市民活動ネットきずな 定例会
- 21日 本会議・個人質問(神原宏一郎) ※
- 22日 「学校図書館を考える市民の会」交流会
教育ボランティア「けやきの会」交流会
- 27日 再生資源ごみ勉強会



2008年の抱負

昨年は選挙の際、特に訴えていた『情報公開』の徹底をつながり通信を毎月作成、駅頭で配布し、ホームページで活動日記や収支報告、議会報告を行うことで、公約を果たしてきたつもりです。今年ももちろん続けていきます！！2008年は『議会改革』を徹底して行っていきたいです。「市民の常識は議会の非常識」なんて耳にしますが、しばしばそのことを実感しています！！

市民感覚で活動し、「おかしいことはおかしい」としっかりと訴え、変えていきたいのです。多くの方から応援を頂き、多くの方から期待されているのに、議会の規則や時代に合わない慣習や通例で、信念を持った活動が妨げられることがあってはならないはずです！！

またまた**完全公開！！**

神原のお金の使いみち

注目！！

第3回市政報告会



恒例の市政報告会です。12月議会の個人質問を中心にお話します。2008年の抱負もお話します。ぜひ、ご参加ください。

日 時：2月2日(土) 午後1時半～3時半
場 所：堀田会館2階第一料理教室
(阪急バス豊中高校前から徒歩3分)
参加費：無料(事前申し込みは要りません)
主 催：前向きひろば
連 絡：06-6854-5664

**「つながり通信」のポスティングや、
周りの方に配って下さる方
ご連絡ください！！**

発行元 つながりひろば ～Link Square～

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階
TEL&FAX:06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から18時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/positive-square/>

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

期末手当(ボーナス)について

共済掛金・所得税を控除して支給された金額は、

143万9039円でした。

来年度の住民税・国民健康保険料が前年度所得額で算出され、大幅に上がることが予想されるため、今回支給分は一旦、貯金する事にしました。

収支報告

2007年10月～12月分

収入	
議員報酬	¥2,040,000
期末手当(注1)	¥1,897,200
合計	¥3,937,200

支出	
議員共済掛金	¥411,975
所得税	¥449,416
議員団費	¥10,200
前向きひろばへ	¥1,050,000
生活費	¥2,015,609
合計	¥3,937,200

(注1) ¥680,000×1.2×2.325

(注2) カンパ、
イベント参加費

(注3) イベント費用

前向きひろば 2007年10月～12月分

収入	
前月繰越残高	¥939,035
神原宏一郎議員報酬より	¥1,050,000
その他(注2)	¥48,500
合計(1)	¥2,037,535

支出	
家屋費(イベント会場費含)	¥224,295
光熱費	¥11,314
通信費	¥20,662
印刷費	¥11,800
備品費	¥1,000
消耗品	¥22,192
交通費	¥6,370
人件費	¥480,250
その他(注3)	¥38,245
合計(2)	¥816,128
次月繰越(1)-(2)	¥1,221,407

前向きひろば 神原宏一郎 事務所

